武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和７年度９月号
統括校長　井内　潔
令和７年９月１日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

学びの秋、実りの秋へ

統括校長　井内　潔

E組の野菜畑

長い夏休みが終わり、子供たちの元気な声が校舎に戻ってきました。今年の夏は猛暑が続き、常に熱中症対策を第一に考えながらの生活は、とても厳しいものだったように思います。気象庁の最新１か月予報（8月21日発表）では、全国的に平年より気温が高い見通しです。今後も学校生活では、熱中症対策を含め、安全・安心を最優先に取り組んでまいります。

２学期は、１年の中で最も長く、学校行事が多く行われる学期です。子供たちは仲間と協力しながら、達成感や充実感を味わうことでしょう。行事に真剣に取り組む姿勢は、学級・学年・全校が一体となる本校の良さでもあります。ぜひ温かい応援をお願いいたします。

一方で、本校の課題の一つに「学力の定着」があります。子供たちには、「自ら学ぶことができ、基礎的・基本的な学力が身に付いている子」「自分で考えることができる子」「自分で判断できる子」を目指してほしいと願っています。これは、単に知識を詰め込むのではなく、日々の授業や生活の中で、自分の頭で考え、選び、行動する力を育てることを意味します。

学校評価アンケートの子供たちの回答によると、スマートフォンやタブレット端末の使用時間が長時間化している傾向が見られます。１日３時間以上使用している割合は、小学生で26%、中学生では41%に達しています。動画視聴やゲームなどの使用も、小学生で29%、中学生で37%が１日３時間以上と、学習時間を上回る結果となっています。SNS機器は使い方によっては学びの助けにもなりますが、無自覚な長時間使用は、学習習慣の定着の妨げや集中力の低下につながる恐れがあります。

もちろん、急速に進化している生成ＡＩの活用は有効です。しかし、スマートフォン依存症（スマホを手放せず、使わないと不安やイライラを感じ、使いすぎて日常生活に支障が出る）につながる可能性もあります。各御家庭では、お子様の生活リズムや端末の使用状況を見直し、使用時間を決めるなどして、学習時間の確保に御協力いただければと思います。

２学期は、学びを深める絶好の機会です。行事が多いからこそ、計画的に学習に取り組む力が求められます。授業では、基礎・基本の定着を図るとともに、子供たちが自ら問いをもち、考え、仲間と意見を交わす場面を大切にしていきます。学習習慣の定着には、御家庭での声かけや生活リズムの安定が大きな支えとなります。「今日の授業で何を学んだの？」「どんなことを考えたの？」といった問いかけを通して、子供たちの学びを応援してください。

秋は、実りの季節です。子供たち一人一人が、自分の力で学び、考え、判断する力を少しずつ育てていけるよう、学校全体で取り組みます。２学期も、どうぞよろしくお願いいたします。